

世界同時公開決定

この秋、このアニメが

映画を進化させる!!

東京国際ファンタスティック映画祭'95ワールドプレミア上映作品

People love machines in 2029 A.D.

"Who are you? Who slips into my robot body and whispers to my ghost?"

GHOST IN THE SHELL

攻殻機動隊

原作: 士郎正宗 (講談社『週刊ヤングマガジン』掲載) 監督: 押井 守

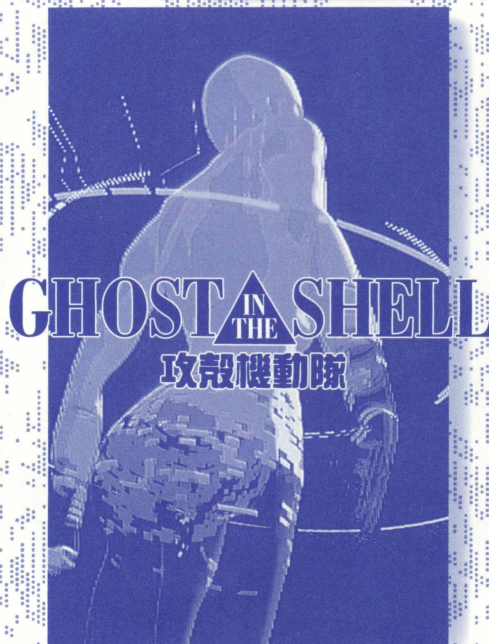
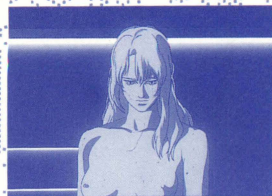
製作: 講談社・バンダイビジュアル・MANGA ENTERTAINMENT / 配給: 松竹

日本が誇る二大クリエイターの 世界へのデビュー作品

このアニメで、映画の中心地がハリウッドから移動開始するかも知れません!? というのも——日本のアニメーションは今、その制作水準において世界のトップにあり、ジャパニメーション(=日本のアニメーション)という新語で呼ばれるほど、世界中から注目を浴びています。『AKIRA』の太田克洋、『となりのトトロ』などの宮崎駿の両氏はすでに海外で大変な評価を受けており、欧米ではアニメにこそこれからの映画を変えていくパワーがあるはずだと、真剣に期待されているからなのです。

そうした中で、かねてより情報通の間で、太田、宮崎に匹敵し海外にも十分通用するクリエイターとして噂されていた漫画家・士郎正宗と映像作家・押井守が、ついに本作品でがっちり手を組むことになりました。早くも、ハリウッドのジェームズ・キャメロンをして「すぐにも見たい」と興奮させるほど、海外では話題になっています。

世界を目指した本作品は、製作費が6億円、日本作品として初の日・米・英同時公開を実現。さらに日本のアニメのトップ・クリエイター28人が参加、最先端映像技術を駆使して来たるべき世界を予感させる、まさに世界サイズのリアリティーSFアクション巨編を作り上げています。



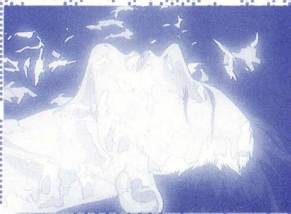
ストーリー

西暦2029年、アジアの一角にある企業集合体国家。情報ネットが世界中に張り巡らされたことで、この国は超高度情報化社会の典型的な恩恵を受けていたが、同時に電腦社会の矛盾もまた集中的に背負うことになってしまった。ハッカー、コンピュータ・ウィルス、擬似情報、情報操作、洗脳、潜入など、電腦犯罪が飛躍的に複合・複雑化し、人格や国家すらも操作するまでになっていた。

こうした凶悪化・巨大化していく電腦犯罪、ネット犯罪に手を焼く政府は、女性のサイボーグ——草薺素子を隊長とする電腦武装された非公然の超法規組織「攻殻機動隊」を創設せざるを得なくなった。

そして今、攻殻機動隊の前に、最強の敵「人形使い」が登場して来る。不特定多数の人間をネットを通じて操り、株価操作から政治工作、テロまで行う「電腦犯罪史上最もユニークな」恐るべき犯罪者だ。

通信ネットを舞台にして電腦技術を駆使した闘いが始まった。しかし、やがてそこに潜っていた国際的な謀略の影がうごめき出した時、人形使いは意外な行動に……。



原作:士郎正宗(講談社『週刊ヤングマガジン』掲載)

監督:押井 守

製作:宮原照夫・渡辺 繁・ANDY FRAIN

脚本:伊藤和典/絵コンテ:押井 守/演出:西久保利彦

キャラクターデザイン・作画監督:沖浦啓之

作画監督:黄瀬和哉/音楽:川井憲次

キャスト:田中敦子・大塚明夫・山寺宏一・仲野 裕・大木民夫・家弓家正

アニメーション制作:プロダクション.I.G/音楽制作:BMGビクター

製作:講談社・バンダイビジュアル・MANGA ENTERTAINMENT

配給:松竹

©1995 士郎正宗/講談社・バンダイビジュアル・MANGA ENTERTAINMENT

今秋ロードショー!!

地下鉄東銀座駅下車・駐車場完備

東

劇

03(3541)2711

コマ劇場前・ヒューマックスパビリオン2F

新宿ジョイシネマ4

03(3209)6180

公園通り・ヒューマックスパビリオン4F

渋谷ジョイシネマ

03(3462)2539

関内駅・日の出町駅下車5分・オデオン斜め前

横浜シネマリン

045(261)1007

特製A2描下しカレンダー付前売鑑賞券発売中
一般1,400円/学生1,200円/小人800円(税込)